

[編集後記]

吉崎亮造

る。それでも研究者は研究を止めない。多くの先端的研究者を抱える大学には社会貢献が求められている。研究者には深い洞察力と高い倫理性も求められていることを忘れてはならない。

(よしざき りょうぞう)

企業が他の企業を買収する型にもいくつかあるようだ。赤字の企業を救済する買収もあれば、黒字の企業を「敵対的に」買収することもある。大企業が大勢の研究者を抱え最先端の研究開発費に多額の投資をするよりは、新しい開発に成功したベンチャー企業を丸ごと買収した方が安上がりになってきたとも言われている。良い買収と悪い買収のような話を聞いていると、思わず良い研究と悪い研究を思い出してしまう。原爆の開発研究が良かったのか、悪かったのか。それに携わった多くの研究者の良心はどうであったのか。薬の研究は毒の研究でもある。使い方によっては毒にもなるし、薬にもなる。分散型コンピュータネットワークの研究に端を発した情報通信がインターネットとして世の中を席卷し、マルコーニによって始められた無線通信が大量の情報を個人が携帯で扱うことができるようになった。世の中は大きく変化をしてい